



雪

月

花

成人向

R-18



リクオ様と家長カナが
キツキキキス——ッ!?



なっ

ななッ……



だといけど……それより
マズイのはこの噂が
広まってるってことの方さ

——え?

分からないかい?
もしリクオ様が人間の娘を
選んだとしたら……



しーっ
声が大きいつ……!

そそそそんなのっ……
何かの間違い——



こうして話してるのは
そのためさ

つらら……協力して
くれないかい



その子供は妖怪の
血が八分の——

跡目がそれじゃあ
当然幹部達は
バラバラになるだろうね

ど……どしたら——

リクオ様

ああ……うん散歩がてら
刀でも振って
来ようかと思って

こんな時間に
どちらへ——

刀——
ですか……?

牛鬼との一件以来
ずっと考えてたんだ

三代目を継ぐのに
僕に足りないもの——

それはやっぱり
強さだと思う

だからまずは僕自身で
出来ることから
始めようと思って……

若をあの娘から
引き離すっていつても
無理矢理じゃ
意味がないでしょ？

だからさ……
アンタには若を
籠落して欲しいんだ

私が……私が
やらなきゃ——

あ……あのっ

お言葉ですが—
そんなことをしても
三代目とは認められない
と思います

え？

何故なら今の
リクオ様には—

百鬼の主に本当に
必要なものが無いからです

大将としての
自信—

何者をも畏れぬ
強い心が

05

僕はじーちゃんみたい
にはなれないよ…!!

だって…僕は
人間—

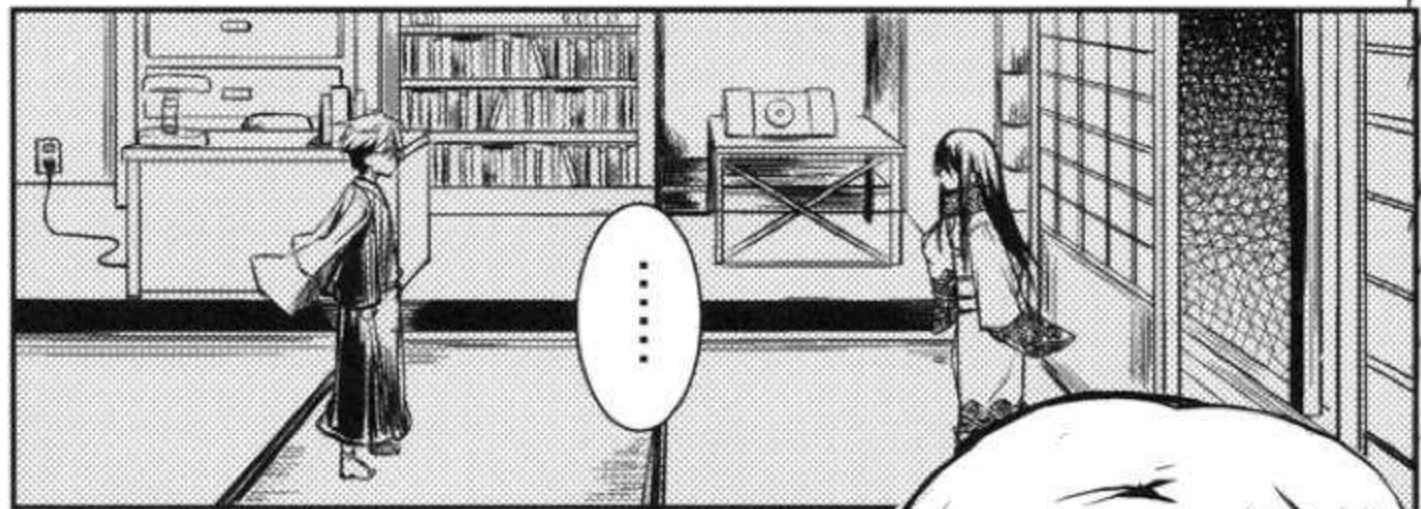
…そんなこと
言ったって—

違いますッ!

ご自分に
自信が無いのは

童貞だから
です!

キ



百鬼の主が女も知らない童貞で
一体誰が従いましようか!
童貞ッ!なんかにッ!畏れを
抱きましようか!

いいいですか?古来より
英雄色を好むと言います!



ちよっと落ち着い
おち



出来れば穏便に
済ませたかった
のですが…

仕方ありませんね

!?

ギョッ

うわっ

と

ん

— 痛た…
いきなり何す—

— 覚悟して下さいね

フフフ…
もう逃げられませんかよ
なんてたってこれは
首無のヒモですから

ギョッ

私の特訓は牛鬼様より
厳しいですよ?

つらら……
……ダメだよこんな事



ふふっ……ほらやっほり
もう我慢汁垂らして
ビクビクしちゃってる
じゃないですか

もぞ
もぞ

あッ
あッ

あら……さきさきは
そうは言っていない
みたいですけど？

射精したかったら
いいでも射精しちゃって
いいですかからね？



ちょっと待てよ
つららって——

それじゃあ……
いただきます——

あぁあぁあぁあぁ
あぁあぁあぁあぁ

あれ？

そんなに冷たくない？

はえ……？

ああ……言い忘れてましたけど私の冷気は云わば畏の発現ですのである程度の調節は出来るんですよ

そういうことは先に言っとよ……

あらあ？「先に」ってことは「あとで」啜えられるのは良いって認めるんですかあ？

あつ……いや……それは言葉のアヤで

ふふふ……怖がらないでも大丈夫ですよ

私にっ……えろお身も心も……んっ……任せて……られるっ……く……だ……ひ……や……い……

気持ちよおくして差し上げますか……らっ！

あッ





さて…それでは
そろそろとっておきを
お見せしますか…

…え？

“**畏**”
の発動！



ふふっ…すぐに
分かりますよ



うわっ冷たッ！
何ッ!?



ふふっ…いいんですよ？
ほらっ…思いつきり
射精っ…して下さい…っ！

また口で…ってあれ？
今ビクンってしまったよ
焦らされた分もう
今にも破裂しそうですね…



五分後

つらら…

10



なんか下半身の感覚が
無く…なって…
もう…無理…

あっじゃあ
冷やすのは
これくらいにして…



なんっ…だ
コレ



…んっ



んう…っぶ
はぶ…ん
むぐっ…ん
むっ



はあ…はあ…どうです
部分的に精液を冷やして
尿道の感度を…えほっ
最大限に引き上げる…
これぞ雪女一族…けほっ
一子相伝の秘技

うう…
喉に…
引っかかる…

※注意
心臓に負担がかかり
危険なのでやめましょう

とっ…にかく!

さっ起きて下さい!
ここからが
ほっ…本番なん



よお...
随分好き勝手
やってくれた
じゃねえか

な!?

えっ



それにつ
そのお姿...ッ

いつの間に...
ヒモを



どうして急に
こんなことしやがった



...それじゃあ
こっちからも
聞かせてもらうか



屋のオレなら
気絶しちまってるよ

ったく死んだら
どうすんだ





この格好は
その…流石に
恥ずかしいのですが—

キュッ♡

あぁあの…



オラッ!
どうした?

しっかり立ってろよ



仕置きって言ったら
やっぱりコレだろ?





はあー...はあ...

んっ...ハア

はあー

はあ...

どうしたんだよ



何でケツ叩かれて
こんな風にな
ってるんだ？

にちあ

あ...う...
それ...は...



小便でもないのに
どうしてこんな
濡れてんのかねえ？
オレには分かんねえな
童貞だから

ひんっ...そん...あっ
ないでく...言わ...
ひゃんッ

なあ...さっきから
トロトロ溢れてきてるココ



にちあ

何ていうのか
教えてくれよ
分かんねえんだよ
童貞だから

そっ...そこは
あ...あの...おっ

はあ



おぼろおぼろおぼろ!!

おぼろおぼろ

おぼろおぼろ

ったく

ひっ...ぐ

んっ...むっ

ふえ...?

自分だって経験無い癖に無理しやがって...

あ...そうか私今...

リクオ様とキス...
以上のこと...してるんだ

…大丈夫か？
痛かったら

へっ平気です
これくら…

だから無理すんなくて
血出てるのに平気な
訳ねーだろ…

あのだっ…
たら…



さっきみたいにな...

キス—
してくれませんか？



してくれたら
痛いのも全部
大丈夫ですから

んっ...くう...



ちゅっ...んむう...
ちゅっ...んむう...
はっ...あ...ん

ぶあっ...んちゅ
じゅるるっ
ちゅっ...んふう

あはは

あっ……
リクオ様……
私……体が……
変……に……

痛いのに……
なんだん……
な……って……
……ふあ……





あとがき

アローアロー、お久しぶりですこんにちは、武中英雄です。

こみ1前に体調崩したりで、オフセ新刊としては
昨年冬コミ以来となりましたがいかがでしょうか。
多少なりとも成長できていればいいのですが。

今回の本、「ゆらちゃんメイン回(雲外鏡の話)に対するつららの嫉妬」
という主軸は3・4巻あたりで考えていたネタだったのですが、
サンクリ・こみ1と二度も出せずにいたら気付けばアニメ化が決定したりしてました。
まあ温めていたネタを折よく出せたということで良しとします。
おかげで過去編も絡めたりできましたしね。

きっと雪麗さんはつららに性技仕込んだり毛倡妓に根回ししたりと
色々頑張ったと思うんですよ、多分。

「何代かけてもあの人の口唇うばってやる！」
の宣言以降涙ぐましい苦労があったんですよ、多分。
ところで本編の妖怪、ぬらりひょん以外ほとんど片親しか出てないけど
ひょっとして妖怪って単性生殖・・・？
雪麗の旦那とかNTRぽくてあんまり考えたくないのもまあいいのですが。

あと「オナクール」に関して
あの辺必要ないんじゃないかって思う人、多分いっぱいいると思います。
うん、僕もそう思います。
思いついた時はこれだ！って思ったんだけどね・・・

ともかく、ぬらり本はもう一冊くらい出したいです！
認識をずらして「前に入ってるか後ろに入ってるか分からない！」とかやりたい。
いやいや嘘嘘。そういうことやってるからページ数圧迫するんだって。
「ワシは人の家で勝手につまみ食いする妖怪じゃぞ？」
って言いつつ狐様をつまみ食いするじーちゃんとかプロットまで考えたけど
ボツにしてよかったと心底思う夏の夜、いや朝。
まさか本編で似たようなことやるとは思わなんだ。

あ、最後にひとつ・・・
毛倡妓と首無のプレイって凄そうですね。

奥付

誌名：雪月花

発行：ARKADIA

発行者：武中 英雄

発行日：2010/8/15

URL：<http://aokan.sakura.ne.jp/>

印刷：みかんの樹 様

※本誌は青年向けの本です。

18歳未満の方のご購入、ご購入はできません。

また、本誌を無断で、書籍、インターネット、DVD、CD等への無断転載、複写などの行為を禁止いたします。



ARKADIA